

埼玉親善大使レポート

Febrero de 2018

小林 幹

2月になり Febrero raro と呼ばれる雨季でない季節なのですが、稀に午後に雷、時には雹を伴う豪雨が発生するようになりました。コースも中盤に差し掛かり、みんなテストに向けての勉強に切磋琢磨しています。レベルが上がるにつれて勉強も大変になるように感じます。今回は、それぞれのメキシコでの生活と Michoacán への小旅行について書きたいと思います。

Michoacán への小旅行

Michoacán とはメキシコシティの西に位置する州です。なぜここに旅行に行ったかというと 12月から3月にかけて Las mariposas monarca というモナルカ蝶がカナダからアメリカを通り、寒さを避けここ Michoacán に南下してくるからです。何万匹、何億匹もの蝶が一日に 120km ほど飛

び、約1ヶ月ほどかけて4000kmもの距離を移動してくるのです。これは、世界遺産にも登録されています。私たちが行った日には寒く、木に止まり休んでいたのですが、晴れて気温が高い日にはその蝶たちが飛んでいるのを見ることができます。寒くても、数千匹が飛んでいる所は見ることができたので、もし晴れて全てが飛んでるところが見れたらそれはすごく神秘的で幻想的だと思います。メキシコは観光名所がたくさんありますが、もし滞在時間が長く時間があれば一度自然の神秘を見て見ることをお勧めします。

メキシコでの生活

メキシコ生活も折り返しとなりました。半年が過ぎて、メキシコでの生活にも慣れ、各々自分の興味があるものに挑戦するようになりました。ある人は、こちらのダンスが好きでダンス教室に通い、またある人はスペイン語だけでなく英語や他の言語、またメキシコの先住民語のナワトル語を学ぶ

など人それぞれです。また、自分たちが通う語学学校 CEPE
が終わった者は、大学に通ったり、インターンをしたりと、
CEPE にて日墨生を見かけることも少なくなりました。皆そ
れぞれのメキシコ生活を各々自分のスタイルで満喫している
のだと思います。